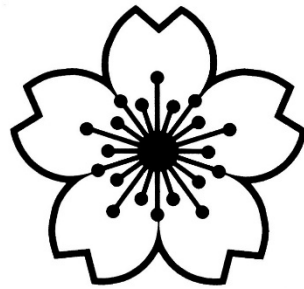


体験授業

令和4年9月25日(日)



**大学の講義を体験できるチャンス！
ぜひ聴いてみて下さい。**

跡見学園女子大学

文学部

人文学科 11:30~12:00 2号館4階M2402教室	現代の図書館と司書事情 講師 長谷川 幸代 図書館といったら、どんなことを思い浮かべるでしょうか。「大量の本」「貸出」「自習」「調べもの」等は誰もがよく思い浮かべるものだと思います。最近では、とても個性のある図書館や高度な情報の検索や地域の発展に力を入れる図書館等が話題になっています。体験授業では、最新の図書館建築やインテリア、司書の仕事事情を紹介して、その魅力をお伝えしたいと思います。そしてそれは、図書館のもつ使命や理念、社会的な機能とリンクしていますので、この分野の「図書館情報学」の観点からも授業を行う予定です。
現代文化表現学科 13:45~14:15 2号館4階M2405教室	ヒップホップが好きな人、昔の音楽が好きな人、 求めるものが違っていたりして？ 准教授 吉田 信夫 BTSが血肉化して世界に進出し、ジャニーズが必須アイテムとして取り入れるラップ。3つの観点から、このヒップホップ系の音楽を考えてみます。第1に、ジャズやロックとの共通点からラップのポピュラーカルチャー性を確認。第2に、ブルースとの共通点に目を向けることで、ヒップホップ系のサウンドが好きな人は、ロックやポップ等、昔のポピュラー音楽の魅力とは別の部分に引かれている可能性が高いことを確認。第3に、他のほぼ全てのポピュラー音楽ジャンルとの関係性に、ラップの特殊性とメリットを考察します。
コミュニケーション文化学科 13:00~13:30 2号館4階M2402教室	カタカナ英語を変えて日本人の英語力を上げる 准教授 中村 聡 数多くの英単語がカタカナで書かれ、私たちの身の回りで頻繁に使われています。しかしその多く、たとえばアイロン、エール、カフェイン、キャベツ、スタジアム、ツイッター、バケツなどは、実際の英語の発音と大きく異なるため、日本に慣れていない英語話者には通じません。そのため私たちは、外国人との英語によるコミュニケーションのために、それらの語の正しい英語音を新たに学ばなければなりません。これは時間と労力の無駄とも言えます。この授業では、この状況を改善するため、カタカナ英語を実際の英語音に近づけるための改革案を示します。



マネジメント学部

マネジメント学科 13:00～13:30 2号館5階M2502教室	企業を知ろう！会計を学ぼう！ 講師 村上 理 「企業」と聞いて、あなたは何をイメージしますか？企業のことをどのくらい知っていますか？街を歩けば様々な企業の看板を目にします。テレビでは様々な企業のCMが流れます。これらの情報のおかげで、いくつかの企業の名前や主力商品などは知っているけれども、それ以上に深いことは分からない……という人が多いのではないのでしょうか。会計を学べば、企業をより深く知ることができるようになります。この授業では、会計の魅力をお伝えします。また、会計を積極的に学ぶ学生生活とはどのようなものかを、跡見の学生たちの例を挙げながらお話しします。
--	---

生活環境マネジメント学科 11:30～12:00 2号館5階M2502教室	ウイルスとの戦いは永遠に続くのか？ 教授 石塚 正敏 新型コロナウイルスが世界的大流行を引き起こして早や3年。ワクチンと変異株との戦いが続く中、次の新型ウイルスの出現も否定できないのが現状です。人類はウイルスと永遠に戦い続けていくのでしょうか？実は、人類は誕生時から既にウイルスとは「共生」していたと言われています。ヒト遺伝子の約8%はウイルス由来の遺伝子ですし、哺乳動物が胎盤を獲得できたのもウイルス遺伝子のおかげと最近判明しました。ウイルスは人類進化にも関わっているのかも知れません。
--	--

観光コミュニティ学部

観光デザイン学科 10:45～11:15 2号館5階M2506教室	クルーズから観光を考える 教授 曾山 毅 クルーズ客船は交通機関ではありません。動く洋上リゾートホテルです。クルーズは観光活動の一形態なのです。旅客機の発達によって定期客船はクルーズ客船へ形を変えました。そしてカリブ海クルーズという商品によってクルーズの大衆化が加速しました。そしてコロナ禍は世界と日本のクルーズをどのように変えるのでしょうか。みなさんとクルーズと観光の関係について考えてみたいと思います。
--	---

コミュニティデザイン学科 12:15～12:45 2号館5階M2506教室	わたしの住むまち 魅力再発見 ～地域をキャンパスにしたまちづくり～ 教授 矢野 峰生 コロナ禍でマイクロツーリズムが話題となりました。マイクロツーリズムは、近隣観光地への旅行だけでなく、在宅地周辺の散策や街歩きでも可能です。そこには魅力資源と社会的課題の解決へのヒントが隠されています。地域資源の探索で地域の魅力を再確認し、地域の誇りが醸成されるプロセスを、地域をキャンパスとした現在までの事例を基軸にして考えてみましょう。
--	--

心理学部

臨床心理学科 11:30～12:00 2号館4階M2401教室	心の距離は、どこに座るかで分かる ーパーソナルスペースの不思議ー 教授 阿部 洋子 席に座るとき、少しずつ間を空けているのは何故でしょうか？それは私たちの心が、親しい人とは近づいても大丈夫、親しくない人とは離れている方が安心だと感じているからです。心の距離が違くと、座る距離などの行動に違いが現れてしまうのです。
--	--